



団体名 片平学区子育て支援ネットワーク連絡会

「プレーパークに遊びに行こう」

■活動の内容

「危ないからダメ！」でなく子供たちの自由な発想で、子供たちが作り出すあそび場、プレーパーク。親や地域の人達、プレーリーダーが見守り誰もが自分らしく思いっきり自由に遊ぶことができるイベントです。団体は子供たちの健全な育成支援を通じ地域コミュニティの活性化を図る活動をされています。今回はプレーパーク冬バージョンを視察しました

■日時

令和5年1月21日(土)

■場所

千句塚公園(緑区片平学区)
参加 50名以上多数



【千句塚公園】



空気が凜と冷たい中、たくさんの遊び道具でいっぱいのリヤカーを引く大人たちに続き、子どもたちがやってきました。集まるなり、あちこちでさまざまな遊びが始まります。自分でやってみたいと思う事を思うままにやる。このプレーパークではそれが当たり前で、その様子を周囲の大人達も尊重している様子が伝わってきます。今回は、食材を持ち寄っての味噌汁作りや焚火の火おこし体験など、冬ならではの‘あったか企画’も。特に焚火には興味津々。現在の生活ではほとんど使用する機会がなくなった、マッチでの火おこしは皆恐る恐る体験。やっと火がおきた際は、歓声があがりました。ほか、折り紙での凧作りと凧揚げ、フラフープ、コマ回し、柔らかい発泡スチロール棒でのチャンバラ遊びなどなど。公園内各所で様々な遊びが子どもたち自ら自由に繰り広げられていました。

千句塚公園でのプレーパーク企画は、さまざまな人達を巻き込みながら、地域に根付き、確実に大きく育っていると感じました。

【味噌汁作り】



【焚火体験】



【遊び風景の一部】

